

資料3

地域医療支援病院の名称使用の 承認申請について



地域医療支援病院制度は、医療施設機能の体系化の一環として、医師の少ない地域を支援する役割を担い、紹介患者に対する医療提供、医療機器等の共同利用の実施等を通じてかかりつけ医、かかりつけ歯科医等を支援する能力を備え、かかる病院としてふさわしい構造設備等を有するものについて、都道府県知事が地域医療支援病院の名称を承認するもの（医療法第4条）。

2 継続承認について

承認を受けている病院が開設場所あるいは開設者が変更となった場合、新たに開設許可をとる必要があることから、地域医療支援病院としても改めて承認手続を要する。

【原則】

移転・管理者変更後の新たな病院体制のもとで1年間実績を積み、それをもって承認手続を行う。

【例外】（厚生労働省見解）

以下の3点を満たすと判断した場合は、移転前の実績による継続的な承認も差し支えない。

- ① 移転先が同一医療圏内でかつ小規模な移転であること。
- ② 病院としての機能（診療科、病床種別、病床数等）が同等であること。
- ③ 病院の利用者数が同等であること。



3 地域医療支援病院の承認要件について

	要件	詳細
1	開設者	国・都道府県・市町村・社会医療法人・公的医療機関・独立行政法人地域医療機能推進機構、医療法人、一般社団法人、一般財団法人、学校法人、社会福祉法人等
2	紹介患者に対する医療の提供	次のいずれかに該当すること。 ①紹介率80%以上 ②紹介率65%以上かつ逆紹介率40%以上 ③紹介率50%以上かつ逆紹介率70%以上
3	共同利用の実施	①施設・設備（医療機器や病床等）が地域の医師・歯科医師の利用のために開放されていること。 ②利用医師等登録制度を設けていること。など
4	救急医療の提供	①24時間体制で入院治療を要する重症救急患者に必要な検査・治療ができる体制・施設が確保されていること。 ②次のいずれかに該当すること。 ・救急搬送患者数÷救急医療圏人口×1000 ≥ 2 ・年間救急搬送患者の受入数 ≥ 1000 など
5	地域の医療従事者に対する研修の実施	①研修の実施のために必要な施設・整備を有すること。 ②地域の医療従事者に対する研修を年間12回以上主催すること。など
6	病床規模	原則200床以上を有すること
7	その他	構造設備、諸記録の管理及び閲覧、委員会の設置、患者相談体制 など



4 申請者について

病院名

開設者

病床数

一般財団法人厚生会 仙台厚生病院
(仙台市青葉区広瀬町4番15号)

一般財団法人厚生会

409床 (一般)

<経緯>

平成14年11月14日

地域医療支援病院名称使用承認

令和6年5月4日

仙台市青葉区堤通雨宮町1番20号に移転予定

【継続承認の適否】

- ・同一医療圏内で小規模の移転 (約1.3km)
 - ・病院としての現在の機能はすべて維持され、病院の利用者数は現在と同等の見込み
- ⇒移転前の実績を用いて審査することが可能

【承認要件の適否】

開設者

病床数

紹介患者に対する医療

共同利用

申請
内容

一般財団法人

409床
(一般)

紹介率 83.9 % (R4実績)

医療機器 (CT、MRI、血管撮影装置等)、会議室、
共同利用推進病床20床、共同利用登録691医療機関

適否

○

○

○ (①の基準を満たす)

○

救急医療

研修

構造設備

諸記録の管理・閲覧

申請
内容

救急告示医療機関、優先病床2床
医師76人、診療施設 (救急外来、
ICU・CCU等)
救急搬入患者4,356人 (R4実績)

雨宮ホール
研修会開催25回
(R4実績)

集中治療室、化学検査室、細菌検査室、
病理検査室、病理解剖室、研修室、講
義室、図書館機能、救急用又は患者搬
送用自動車、医薬品情報管理室

責任者及び担当者、
閲覧場所の設置

適否

○

○

○

○

委員会

相談体制

申請内
容

地域医療支援病院諮問委員会
(規定あり。外部委員6名)

患者相談室
相談件数：12,378件 (R4実績)

適否

○

○

【審査結果】

当該病院は、全ての要件を満たして
いることを確認した。

5 責務の追加について

地域の実情に応じ、地域医療支援病院の管理者の責務として「地域における医療の確保を図るために当該病院が行うことが特に必要であるものとして都道府県知事が定める事項」を追加することができる。

（責務を追加する際には、地域医療構想調整会議において協議した上で、医療審議会において審議する。）

【地域の実情に応じて追加する責務の例】

医療法の一部を改正する法律の施行について（平成10年5月19日厚生省健康政策局長通知）五（九）④

- ・医師の少ない地域を支援すること
- ・必要な医療に重点化した医療を提供すること
- ・感染症医療の提供を行うこと
- ・災害時に医療を提供すること など

当該病院は

- ・医師の少ない地域への医師派遣実績あり。
- ・循環器・呼吸器・消化器の3領域を中心として設備及び人材の充実を図り、特に一刻をあらそう心臓血管領域においては24時間体制の診療体制を確立している。
- ・陰圧等を設置した感染症患者に対応できる病床として利用できる区画を病棟に設置しており、感染症医療の提供が可能。新型コロナウイルス感染症患者の入院受け入れを令和2年度から実施している。
- ・免震構造の病院施設、非常電源の確保、BCP計画等により、災害発生時には早期の復旧を行い、他医療機関の患者受け入れ体制を整備し、災害時における地域医療の確保に努めている。

➡ 以上のとおり前述の責務の例に示す事項に関する実績を相当程度満たしていることから、「地域における医療の確保を図るために当該病院が行うことが特に必要であるものとして都道府県知事が定める事項」（管理者の責務）を設定する必要性は乏しい。

6 宮城県地域医療構想調整会議（仙台区域）での協議

令和6年3月書面開催

宮城県地域医療構想調整会議（仙台区域）

7 <参考>地域医療支援病院の状況(令和4年度業務報告の概要)

	医療機関名	病床数	承認年月日	紹介率	逆紹介率	救急患者 受入数	救急搬送 患者数	共同利用 延べ件数	研修 開催
1	みやぎ県南中核病院	310床	H16.11.19	83.8%	74.2%	13,532人	4,406人	1,445件	105回
2	仙台厚生病院	409床	H14.11.14	83.9%	186.6%	5,975人	4,356人	1,907件	25回
3	宮城県立こども病院	241床	H18.11.15	91.8%	56.2%	1,922人	1,121人	0件	19回
4	東北労災病院	548床	H21.11.24	84.9%	76.0%	5,452人	3,089人	200件	20回
5	JCHO仙台病院	384床	R4.12.1	62.1%	72.5%	3,989人	2,041人	2,933件	12回
6	仙台オープン病院	330床	H10.9.1	92.4%	73.1%	8,429人	3,519人	1,423件	4回 (コロナ特例)
7	仙台医療センター	660床	R1.5.1	86.4%	93.6%	9,866人	5,719人	0件	17回
8	東北医科薬科大学病院	600床	H25.3.1	69.6%	86.1%	7,433人	3,877人	0件	14回
9	仙台市立病院	525床	H26.11.1	77.7%	87.3%	15,204人	7,893人	816件	26回
10	仙台赤十字病院	389床	R1.11.28	75.9%	101.9%	5,088人	2,145人	344件	13回
11	坂総合病院	357床	H19.12.25	90.5%	138.3%	8,176人	2,891人	0件	14回
12	大崎市民病院	500床	H26.6.28	67.8%	79.3%	10,583人	6,713人	435件	16回
13	石巻赤十字病院	460床	H20.5.23	69.7%	97.0%	28,071人	6,980人	237件	14回

